



# 暮らし関連情報

◆◆ブイチェーンネモト本店（檜葉町）◆◆

## 「本格再開を目指し、厳しくても、がんばって営業しています。」

「先代は昭和36年から檜葉町内で肉屋を営んでいましたが、後にブイチェーンに加盟し、震災以前は生鮮食料品や生活用品を取り扱う、地域に密着したスーパーとして店舗展開をしてきました。当店（本店）は去年（25年）5月に、ようやく営業再開までこぎつけました。」とおっしゃるのは、ブイチェーンネモト社長の根本茂樹さんです。

「震災直後は避難しましたが、2か月後から、広野ドライブインやJヴィレッジ、いわき市の上荒川仮設住宅内で順次営業を開始すると同時に、食事に困っている除染作業員の方々向けに、作業現場にお弁当を配達する事業を始めました。そして檜葉町での除染作業の本格化にともない去年の3月頃に本店での再開を決意しました。

以前から働いていた従業員の半数程が戻ってきてくれて、思いのほか人材がスムーズに集まったことも幸いしました。」

「現在、お客さんの大半は除染作業員の方々に、主に弁当や惣菜が売れ筋商品となっています。売上は、震災前に比べると大変厳しい状況ですが、弁当のメニューを工夫したり、いわき市で再開した町内のペカーリーで毎朝作った焼き立てのパンを販売したり、店内に新たにイトインのスペースを設置したりするなど、お客さんの要望にできるだけ応えるように心がけ、リピーターとして来ていただいている方も増えてきました。」と前向きなお話があった一方で、

「本店の建物は、地震による被害はほとんどなかったのですが、避難している最中に冷蔵庫の



店内には豊富な商品を揃えています



JR常磐線竜田駅近くに立地しています



正直他の店舗とトータルしても利益はでていません。それでも、将来の本格営業に繋ぐための「仮営業」として、儲けは度外視して営業しているというのが本音です。

震災から3年近く経過し町は様変わりしましたが、以前のような活気ある檜葉町に戻ることを心から望んでいます。

ブイチェーンネモト 社長 根本 茂樹さん(右)と  
本店店長 梅田 敬之さん(左)

冷媒ガスが抜けてしまい、週末に向けて大量に仕入れていた在庫が大量の生ごみになってしまいました。放射能汚染されていない事業系廃棄物は特措法上は、国で処理する対策地域内廃棄物の対象とならず、自費で処分しなければならぬとのこと。相当出費してかなりの量を処理したのですが、まだ大量のごみを未処理のまま保管しています。これはなんとかならないのでしょうか。」

「現在は、店に足を運んでくれる町民の方はまだまだ少なく復興に向かっている実感はあまりありません。また、悪天候などで除染作業が中止になると途端に客足が減ってしまうのが現状で、除染作業が一段落する近い将来、来客数が激減してしまうのをとても心配しています。

それでも従業員の雇用を考えるとなんとか営業は続けていきたいと思っています。」

根本さんは、厳しい見通しの中での今後の課題を話されました。



屋にはお弁当やお惣菜を求めに来るお客さまで賑わいます



好評のイトインスペースです

### ◆◆◆ 復興に向けた事業者からのメッセージ ◆◆◆

地元商工会の話では、来年度から国の支援で、国道6号沿いに仮設店舗を設置する計画があるとのこと。これまで国の支援制度は特に使っていませんでしたが、うまく使えそうなものがあれば、積極的に活用して、店を盛り上げていきたいです。



ブイチェーンネモト本店 9:30~18:00 (日曜祝日休み)  
福島県双葉郡檜葉町大字井出字西原12  
連絡先：0240-24-3165